

土砂災害の基礎知識

○土砂災害とは?

土砂災害とは、大雨や地震など引き金となって、山や、がけが崩れたり、水とまじりあった土や石や木が川や谷から流れ出ることによって、私たちの大切な命や財産が脅かされる自然現象です。
また、土砂災害は大きな破壊力を持つ災害ですが、発生場所や発生時刻を正確に予測することが難しい現象です。

○土砂災害防止法とは?

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律

土砂災害(土石流、地すべり、がけ崩れ)から国民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域についての危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等のソフト対策を推進しようとするものです。

基礎調査の実施

都道府県が、土砂災害により被害を受けるおそれのある場所の地形や地質、土地の利用状況などを調査します。

都道府県知事は、市町村長の意見を聞いたうえで区域を指定します。

土砂災害警戒区域の指定(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域

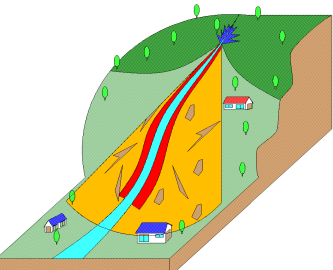
土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域

主な土砂災害の種類

土石流

山腹が崩壊して生じた土石等又は溪流の土石等が水と一体になって流下する自然現象

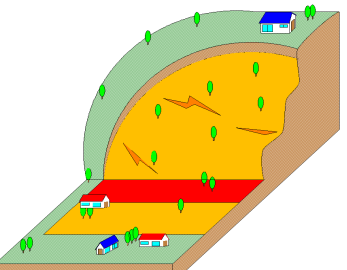


前兆現象

山鳴り、立木の裂ける音をする
川が濁ったり流木が混ざり始める
急激に川の水位が下がる

地すべり

土地の一部が地下水等に起因してずべる自然現象又はこれに伴って移動する自然現象

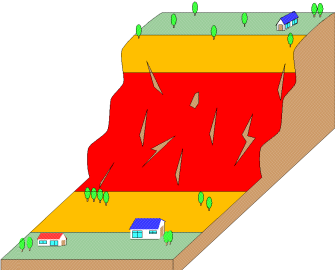


前兆現象

沢や井戸の水が濁る
地面にひび割れができる
斜面から水が噴き出す

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

傾斜度が30度以上である土地が崩壊する自然現象



前兆現象

斜面に亀裂ができる
斜面から木の根が切れる音をする
小石がパラパラ落ちてくる

雨の強さと降り方の目安

量(mm)	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上
天気予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感で恐怖を感じる
人への影響	地面からの水はね返りで足元が濡れる	傘をさしていても濡れる	傘は全く役に立たない		
災害発生状況	この程度の雨でも長く続くときは注意が必要	側溝や小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要	土石流などの多くの災害が発生	大規模な災害が発生するおそれが強く厳重な警戒が必要

非常持ち出し品について

ポイント!

非常持ち出し品は最低1日分、備蓄品は3日分(飲料水1人1日3リットル)~1週間分を用意しておきます。

すぐに持ち出すものと、あとで取りに来るもので分けておく素早い避難につながります。

非常持ち出し品は複数用意して直射日光が当たらず、家族が素早く取り出せる場所に保管します。

男性は15kg、女性は10kg以下を目安にまとめると避難行動がとりやすくなります。1年に1回は点検をし、期限のあるものは交換します。

○貴重品類

- 現金(小銭も必要)
- 預金通帳・印鑑
- 身分証明書

○衣類

- 衣類・下着
- タオル
- ヘルメット
- 雨具
- 軍手
- マスク

○照明器具

- 懐中電灯
- 電池
- ろうそく
- マッチ・ライター

避難場所のチェック!!!

指定避難所	
施設名	電話番号
原村役場	0266-79-2111
ハッ手公民館	0266-79-2910
原小学校体育館	0266-79-2123
原中学校体育館	0266-79-2455
原村社会体育館	0266-79-4922
原村中央公民館	0266-79-7940
弘沢公民館	0266-79-2755
柏木公民館	0266-79-2001
菖蒲沢公民館	0266-79-2032
中新田公民館・稲転研修施設	0266-79-4834
南原公民館	0266-79-5485
上里公民館	-
八ヶ岳自然文化園	0266-74-2681
やつがね公民館	0266-79-5490
原村レストハウス桜の木荘	0266-74-2311
もみの湯	0266-74-2911

指定緊急避難場所	
弓振農村広場	-
原小学校校庭	-
原中学校校庭	-
弘沢農村交流施設	-
柏木農村広場	-
深山農村公園	-
南原運動広場	-
八ヶ岳自然文化園	0266-74-2681
原村レストハウス桜の木荘グランド	0266-74-2311

福祉避難所	
原村地域福祉センター	0266-79-7092
原村保健センター	0266-75-0228

○医療用品

- 傷薬・痛み止め
- 常備薬
- トイレトペーパー
- ティッシュ
- 紙おむつ(家庭状況による)
- 生理用品(家庭状況による)

○食料品

- 飲料水
- ビスケット・乾パン
- 缶詰・レトルト食品

○その他

- ラジオ
- 筆記用具
- メモ帳
- 缶切り・ナイフ

● 公民館等

施設名	電話番号
大久保公民館	0266-79-2809
柳沢公民館	0266-79-2705
ハッ手公民館	0266-79-2910
弘沢公民館	0266-79-2755
柏木公民館	0266-79-2001
菖蒲沢公民館	0266-79-2032
室内公民館	0266-79-4587
中新田公民館・稲転研修施設	0266-79-4834
南原公民館	0266-79-5485
判之木公民館	0266-79-4943
上里公民館	-
やつがね公民館	0266-79-5490

⊗ 警察署

茅野警察署原村警察官駐在所	0266-79-2806
---------------	--------------

⊕ 消防署

諏訪広域消防本部 原消防署	0266-79-2442
---------------	--------------

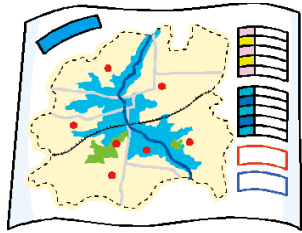
⊕ 医療機関

原村国保診療所	0266-79-2716
富士見高原医療福祉センター-中新田診療所	0266-70-1331

災害に備えてできること

○日頃の備え

避難場所の確認を



いざというときにあわてないように**自宅や職場の近くにある避難場所を知っておきましょう。**

避難経路を確認



事前にどのような経路で避難場所にたどり着くか知っておくことで、より安全かつ迅速に避難することができます。

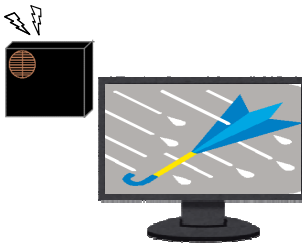
地域や家族で話し合う



地区の集会や家族がそろった時に災害についてや防災知識、近所の危険箇所について話し合しましょう。

○大雨の警戒・避難

各所から情報収集



雨が激しくなってきたらテレビやラジオ、インターネット等で**最新の情報を収集**しておきましょう。

降雨量に注意



局所的で短時間に強い雨が降ることもありますので注意しておきましょう。

状況を見て行動



土砂災害の予兆を把握するために、雨が降り始めたら**家の周りに注意し、危険と感じたら早めに避難**しましょう。

災害に強い村づくり

○自主防災組織で「自分たちの村は自分たちで守る」

いつ何時起こるか予測ができない災害において、地域の絆はとても大切です。自主防災組織の中で災害について話し合ったり、起こった時にどのように対処するのかを事前に決めておくことで災害に強い村づくりができます。

平常時

防災知識の広報・啓発
(地域防災・家庭内安全策)
地域危険箇所の把握
(防災マップの作成)
防災訓練(個別訓練・総合訓練の実施)

災害発生時

情報の収集・伝達・広報活動
出火防止・初期消火活動
救出・救護活動
住民避難誘導活動
給食・給水活動

自主避難の手引き

原村 警報等の発表基準

大雨	種別	注意報	警報	記録的短時間大雨情報
	1時間の雨量	40mm	60mm	1時間雨量が100mmを超えた場合
土壌雨量指数基準(※1)	92	116		
土砂災害警戒情報	2時間先までの予想雨量から土砂災害発生危険基準線(※2)を超えると予測した場合			
危険度 低	避難警戒情報	避難勧告	避難指示	危険度 高
大雨警報が発表され、近隣でわき水、地下水が濁り始めた、量に変化した等の前兆現象が確認された時	近隣の溪流付近で斜面崩落、斜面のはらみ、擁壁、道路等にクラックが発生等の前兆現象が確認された時	近隣で土砂移動現象、山鳴り、流木の流出、斜面の亀裂等の前兆現象が確認された時		
土砂災害警戒情報が発表された場合	降雨状況が土砂災害発生危険基準線(※2)を超え、更に増加することが予想される時	土砂災害が発生した時		
避難に時間を要すると思われる者は計画された避難場所へ避難行動を開始しましょう。(支援者は支援行動を開始)	とるべき行動	避難中の住民は確実な避難行動を直ちに完了させましょう。 避難を開始していない住民は避難行動に移ると共に、生命を守る最低限の行動を開始しましょう。		
非常持ち出し品の用意等、避難準備を開始しましょう。		速やかに計画された避難場所へ避難行動を開始しましょう。		

最新の雨量、土砂災害情報の入手先

長野河川砂防情報ステーション <http://www.sabo-nagano.jp>

○自主避難行動の基本

※1 土壌雨量指数基準

降った雨が土壌中にどれだけ貯まっているかを見積もり、土砂災害の危険度の高まりを表現したものの。

※2 土砂災害発生危険基準線

過去に発生した土砂災害と発生時の降雨状況等をもとにこれ以上降雨があった時には、土砂災害がいつ発生してもおかしくない境界線を示したものの。

ポイント!

避難勧告等が出ていなくても『**自らの身は自分で守る**』ことを基本とし、がけ崩れの前兆現象(斜面の亀裂、斜面から音がする、小石が落ちる等)など身の危険を感じたら躊躇なく早めに自主避難を開始してください。

ポイント!

避難は、従来からの避難所等への『**水平避難**』に加え、無理に避難所まで避難しようとせず、壊れにくい建物の2階以上に避難する『**垂直避難**』、夜間・豪雨時など屋外避難がかえって危険と判断した場合は自宅2階への『**緊急待避**』することも重要です。

情報の伝達方法

長野県・地方気象台

地域放送・通信メディア

消防機

広報車
有線放送

区(自治会)



<問い合わせ先>

原村役場 総務課

〒391-0192 長野県諏訪郡原村6549番地1

TEL: 0266-79-2111 FAX: 0266-79-5504

<http://www.vill.hara.nagano.jp/>